

科目名称	精神看護実習	学年学期	単位数	時間数
		2 学年後期		70
担当教員	川崎由希	授業に関わる 実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (看護師) <input type="checkbox"/> 無	

【1】 概要

精神疾患をもつ対象とのコミュニケーションや信頼関係を築くプロセスは看護の基本である。患者—看護者関係の形成過程を学び、自己理解を深め、看護するために必要な知識・技術・態度を学ぶ。

【2】 学習目標

1. 対象がどのような健康障害をきたしているか理解する。
2. 援助の方向性に基づいて個別的な援助が実践できる。
3. 実習を通して自己を理解する力を養う。
3. 保健医療福祉チームの一員としての役割を理解し、看護職としての基本的態度を身につけることができる。

【3】 ディプロマポリシーとの関連性

- I. 人に関心を持ち多様な人間を理解する力
- 1. 人間を生活者として捉えることができる。
 - 2. 人間の生命、人間としての尊厳及び権利を尊重し、多様な価値観をもつ人間を理解することができる。
- II. 看護を実践する力
- 1. 対象の健康状態の変化に気づくことができる。
 - 2. 安全に科学的根拠に基づいた看護援助を実践できる。
 - 3. 様々な場で生活する人々を支援するための援助を考えることができる。
- III. 人間関係を構築する力
- 1. 対象とより良い人間関係を築くことができる。
 - 2. 多職種と連携・協働するための人間関係を築くことができる。
- IV. 主体的に学び続ける力
- 1. 自己の資質向上のために学び続ける必要性を理解している。
 - 2. 自己の看護観をもちキャリアデザインを描くことができる。

【4】 授業計画

	内 容	授業形態
実習前	精神看護実習概要についてオリエンテーションを受ける。 実習に必要な事前学習を行う。	学内オリエンテーション
実習 1 週目	1. 病院・病棟オリエンテーションを受ける。 2. 受け持ち患者を決定し、受け持ち患者を中心にコミュニケーションをはかる。 3. 患者を取り巻く環境、患者の生活を理解する。 4. 受け持ち患者の情報を収集し、個別性をとらえたアセスメントをする。 5. 受け持ち患者の日常生活の援助を実施する。	実習
実習 2 週目から 最終日	1. 自己洞察を行いながら受け持ち患者との関係を築く。 2. 援助の方向性に基づき優先順位を考慮しながら援助を実施する。 3. デイケアに参加、見学する。 4. 救急急性期治療病棟を見学する。 5. 自己の学びをまとめ、課題を明確にする。	実習

【5】 評価方法

精神看護実習の到達度基準にそって、実習での取り組み、実習記録、実習前から実習後の学習状況から、学生・教員・臨地実習指導者で評価を行う。

【6】 教科書

榎本 哲郎 他著 看護学入門 13 精神看護 メヂカルフレンド社 2024 年

【7】 参考書

適宜、資料を配付します。

【8】 受講生へのメッセージ

精神看護実習は自己のコミュニケーションの傾向を知ることができます。積極的に患者さんとコミュニケーションをとりましょう。